

これから感染症の季節…

実際に保護者の皆様から頂いたアンケートの中から、今回は熱性けいれんのエピソードをご紹介します。

熱性けいれん編

痙攣が起きたときに 呼吸も止まった…!!

呼吸、止まると…



高熱が出やすい子だと認識していたので、どう対応するかなどネットで調べていましたが、実際に子どもが熱性痙攣を起こした時は慌てました…。

どのくらいの時間、左右対称など、細かくチェック事項があり難しいのですが、とにかく動画を撮るのが今は良いようです。

子どもがバタバタと痙攣をし、口から泡を吹き息が止まって顔が真っ青な時間が長く、痙攣から1分を超えたところで救急車を呼びました。

冷静ではいられず、叫びながら電話をしましたが、痙攣中の子どもは耳は聞こえていることが多く、大人が慌てるのは良くないそうです。細かくメモなどできませんので、動画を撮り、医師には動画を見てもらうのが良いそうです。

また、救急車の中で酸素濃度が上がらず酸素マスクをつけて過ごしました。素人では判断が難しく、また落ち着いて対応ができる人はあまりいないのではないかと思います。

病院の診察で言われたお話で衝撃だったのは、痙攣が起これると、息が止まるのは良くあることだそうです。。。